

2024年5月吉日

会員各位

第74回全国学術大会の自由論題・テーマ分科会募集のお知らせ

2024年日本現代中国学会全国学術大会を、10月19日（土）・20日（日）の両日、開催することになりました。会場は法政大学市ヶ谷キャンパス（東京都千代田区）を予定しています。次ページ以下の応募要項の通り、会員の皆様から自由論題の報告希望者およびテーマ分科会の開催希望者を募集いたします。奮ってご応募くださいますようお願い申し上げます。

なお、今大会の共通論題は「習近平の『融合発展』戦略と台湾」です。

2024年1月に台湾で4年に一度の総統・立法委員選挙が行われ、民進党の頼清徳候補が当選しました。民主化後の台湾では初めて、民進党が3期目の政権与党を担うこととなります。他方で、民進党は立法委員選挙で議席を減らし、単独過半数を獲得できませんでした。習近平政権はこの選挙結果を、民進党に対する不信任の増加だと総括し、台湾に対しては引き続き「愛国統一力量」を増やすべく働きかける姿勢を見せています。今後、中国と台湾の間で直ちに軍事紛争が起きる可能性は低いものの、台湾に対する硬軟を織り交ぜた攻勢はさらに強まるものと思われる。そうしたなかで注目を集めているのが、習近平がそのキャリアの多くを過ごした福建省と、そこに近接する金門・馬祖を突破口として、台湾との統合を進めようとする「融合発展」戦略です。本年の全国大会の共通論題では、この「融合発展」戦略に注目し、その実態や可能性、台湾と地域の国際関係に与える影響などについて、学問的に議論をしたいと考えています。

共通論題は一部構成です。まず、鈴木隆会員から、習近平が打ち出した台湾との「融合発展」論について、福建時代からの連続性も含めてご報告いただきます。次に、下野寿子会員から、福建省経済から見た「融合発展」戦略についてご報告いただきます。そして、現代台湾政治をご専門とする松本充豊会員から、中国の「融合発展」戦略がエコノミック・ステイトクラフトとして、台湾政治にどのような影響を及ぼすのかについてご報告いただきます。最後に福田が、「融合発展」戦略の対象としての金門島に注目し、近年の政治的、社会的な変化について報告します。これらの報告に対して、川島真会員と黄英哲会員より、歴史や文学などより幅広い文脈のなかで、この「融合発展」戦略がいかなる意味を持つのかという視点からコメントをいただき、議論を深めていきます。

応 募 要 項

自由論題の報告希望者およびテーマ分科会の開催希望者を以下のように募集します。事務的混乱を避けるために、やや煩瑣なご依頼事項を列挙しておりますことをお許しくください。

①自由論題での報告（一人の報告時間は25分程度）をご希望の会員は、氏名・所属・報告テーマおよび要旨（800字程度）を下記⑩の連絡先までお送りください。

なお、大学院生は指導教員、またはそれに相当する会員の推薦状（推薦者の氏名、所属、連絡先、推薦理由を記載。書式は自由）が必要です。報告者は会員でなければなりません（非会員の場合は下記⑤を参照）。

②テーマ分科会の開催（報告者2～3名、約2時間）をご希望の会員は、企画者の氏名と所属、企画テーマ、討論者の氏名と所属、司会者の氏名と所属を確定したうえで、下記⑩の申込先までお送りください。分科会は原則として会員で構成するものとし、エントリー後のメンバーの変更はできません。確認のため、報告者、討論者、司会者が会員であるかどうかを明記してください。

③自由論題およびテーマ分科会の応募に関するご連絡は、すべて電子メールでお願いします。その場合、ウィルス感染防止のため、添付ファイルは使用せず、メール本文にテキストで記載してください。なお、推薦状も原則としてメールで作成し、応募者はそれを転送するかたち（メール本文にペースト）としてください。どうかご理解とご協力をお願いいたします。

④締め切りは6月14日（金）とします。

⑤学会非会員の方で、自由論題での報告をご希望の方は、入会が応募の条件となります。入会申請をしていただいたうえで（日本現代中国学会のウェブサイト <http://www.genchugakkai.com/nyukai.html> を参照）、ご応募ください。入会手続きが報告発表までに完了しない場合でも、応募済みであれば発表は可能です。

⑥大会参加の旅費および宿泊費等は自己負担となります。

⑦報告希望者、テーマ分科会開催希望が多数に上る場合は、内容や会員歴などをふまえて調整させていただくことがありますので、あらかじめご承知おきください。

⑧応募をされた方には、メールにて実行委員会より応募受理の連絡をいたします。メールを送信した後、1週間以内に連絡がないときは、再度メールにてお問い合わせください。

⑨自由論題報告者は、大会10日前の10月9日（水）までに報告原稿またはレジュメを実行委員会まで提出してください。なお、パワーポイント等の機器使用を希望される場合は申し込み時に必ず明記してください。

⑩応募申込先は、以下の実行委員会メールアドレスです。

genchu2024@gmail.com

⑪応募のメール送信をする際、件名を以下のようにしてください。

*自由論題への応募の場合は「自由論題」

*テーマ分科会応募の場合は「テーマ分科会」

この機会に当学会未加入の優秀な大学院生の皆様にも、ぜひ入会と報告発表をお勧めくださいますようお願い申し上げます。

日本現代中国学会第74回全国学術大会
実行委員会事務局（福田円研究室）